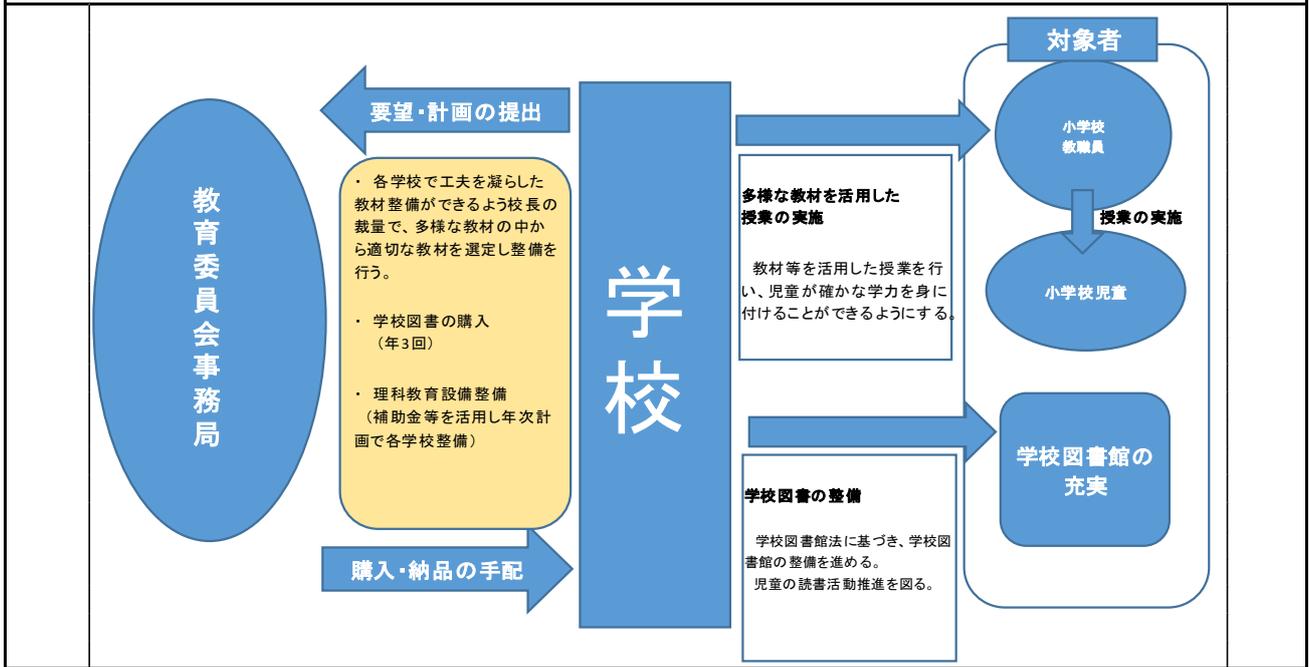


事業概要シート

施策	0202	小・中学校教育の充実	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	小学校教材等整備事業	現状維持	予算額 33,859 千円 << 33,063 >>千円
事業期間	~	財源内訳	国庫支出金 8,194 千円
根拠法令要綱等	教育基本法、学校教育法、理科教育振興法、学校図書館法		県支出金 千円
			地方債 千円
			その他 千円
			一般財源 25,665 千円

【事業の目的・概要・対象】

- 対象者 市内の小学校15校の児童及び教職員
- 目的 教科学習等における教材を整備することにより、児童の好奇心や探究心、論理的な思考力、表現力を養い、確かな学力を身に付けることができるようにする。
- 事業概要
 - ・各小学校が工夫を凝らした教材整備ができるよう、校長の裁量で多様な教材の中から適切な教材を選定し整備する。
 - ・学校図書館法に基づき、学校図書館の整備をすすめる。（校長の裁量で選書）
 - ・理科教育振興法に基づき、理科教育備品の整備を進める。



【背景】

学習指導要領に対応した教材を整備することが必要である。特に重視されている基礎学力の確実な定着を図りながら、児童の個性を伸ばし、特色のある学校づくりを進めていかなければならない。

担当課	教育委員会 教育総務課	課長	楠本 奈津子
担当者	前山 知也	問合せ先	0957-53-4111 (内線376)

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	学校図書整備費	計画値	千円	6483	6500	6500	6500	6500
②	理科教育設備整備費	計画値	千円	4297	5000	5500	5500	5500

【成果指標】

指標名			単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	学校図書館蔵書率 (図書蔵書冊数/標準冊 【文科省設定】)	計画値	%	90	95	95	95	95
②	理科設備整備率 (理科設備現有額/基準額 【文科省設定】)	計画値	%	71.7	80	85	90	90

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	73,744	47,905	33,063	33,063	33,063	33,063	253,901
国庫支出金	2,376	2,143	2,500	2,500	2,500	2,500	14,519
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	71,368	45,762	30,563	30,563	30,563	30,563	239,382
人件費	364	2,244	1,858	1,858	1,858	1,858	10,039
職員(人)	0.05人	0.30人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	1.35人
時間外勤務(h)		31h	20h	20h	20h	20h	111h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	74,108	50,149	34,921	34,921	34,921	34,921	263,940

妥当性 (市の関与)	学校に備えるべき教育設備(教材教具)は、設置者がその経費を負担することになっており、各学校の実態に応じて所要の教材を確保し、教材の整備を進めなければならない。
有効性 (施策貢献度)	多様な教材を揃えることにより、授業等の充実が図れ、確かな学力を身につける上で有効である。
効率性 (コスト)	現状として、削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	一次評価者意見のとおり